

N-5

夢見る力を育む応援 ～大人の役割を考えよう～

対象：小学校・中学校の子どもをもつ保護者
時間：60分程度

ねらい	子どもの夢の実現に向け、保護者として、どのような支援が必要かについて考える。		
実施のポイント (評価など)	○ 子どもの願いや姿を受け止めながら、将来に向けて必要な力をつけていくために子どもとの関わり方を考えることができる。		
事前準備	○ あらかじめ4人グループに分かれておく。 ○ 筆記用具 ○ 付せん紙2色 ○ A3用紙 ○ ワークシート①～② ○ ふりかえりシート ○ 資料①～⑥		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 5分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク	・参加者の緊張をほぐし、和やかな雰囲気をつくる。 ・自己紹介で「自分の子どもの頃の夢」について話し合う。 ・自己紹介により互いに親近感がもてるようにする。	
展開 10分	ワーク1 ・子どもの将来の夢についてグループで話し合う。	◎子どもの夢に対するそれぞれの親の気持ちに共感できるようにする。 ・子どもの夢やあこがれの職業を紹介し合い、それについての保護者の思いを交流する。子どもには夢がない、子どもの夢が把握できていないという場合もそのことについての思いを出してもらう。	ワークシート①
20分	ワーク2 ・子どもの良さや日々の頑張り等を出し合い、その特性に合った将来の姿を考える。	◎子どもの良さや日々の頑張り等を出し合い、その特性に合った職業を考えることで子どもの思いを尊重した進路について考えることをねらいとする。 ・夢に向けての努力のみに限定せず、日頃の些細な頑張りや興味関心についても目を向けるようにする。 ・思いっただけ書いた付せん紙すべてA3用紙に貼り出し、グループで交流する。 ・子どもの頑張る姿から期待できる将来の姿を思いっただけ付せん紙に記入し、グループ全体で交流する。 ・交流した意見は、実際の子どもの思いとは異なる、その場で感じた大人の意見であり、あくまで多様な可能性として挙げられたものであることをおさえておく。 ・資料を提示し、子どもの夢実現に向けた大人の支援について知る。	ワークシート① 付せん紙 2色 A3用紙 資料①
15分	ワーク3 ・ワーク2をもとに夢の実現に向けて意欲をもって取り組んでいる子どもへの関わり方について、グループで話し合う。	◎夢実現や自己実現に向けて、子どもを支える保護者として何ができるかを考えることをねらいとする。 ・関わりとしては、直接的な支援（知識・技能の習得）と間接的な支援（内発的な動機づけ）の両方の視点で考えることができるようにする。 ・グループで話し合った後、全体で共有する。	ワークシート②
まとめ 10分	ふりかえり ・参加者に応じた適切な資料を資料②～⑥より選んで提示する。 ・今日の感想を記入する。 ・発表し合い、共有する。	・資料を提示し、子どもの将来に向け、関わり方で意識していきたいことの参考とする。 ・主役は子どもであり、保護者は子どもを支える応援団であるということを踏まえ、子どもの発達段階に応じた支援を行うことの大切さを確認する。	資料②～⑥より選択 ふりかえりシート